

平成30年度 長野北幼稚園 「園の自己評価」

より良い園運営を行うため、評価項目の指標に基づいて常勤職員による自己評価を行いました。

1、園の教育目標

- (1) じょうぶな体の子 (2) やさしい心の子 (3) かしこい子

2、本年度の重点目標

共に遊び 共に学んで「できた」「つくれた」「わかった」がいっぱいの子どもに

- (1) よく遊びよく食べる丈夫な体の子
 (2) 友だちとなかよくできる優しい子
 (3) 好奇心いっばいに生活し、気づき、考え、表現する子

3、自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修(資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会(モニター会)を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4、園長より本年度の取り組みについて

- (1) 「教育目標」や「本年度の重点目標」については、四月当初の職員会で確認するだけでなく、職員会で意図的に話題にし再確認をしたり、子どもの育ちをもとに意思統一をはかることが必要であった。
- (2) 「地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズの把握」については、若槻団地友愛クラブの方による英会話の授業参観や園児募集に関わり地域の子育て講座に出向くなどによりパイプ作りに努めることができた。
- (3) 「親子自然体験活動」(10/27)を実施したり、「長野少年少女合唱団によるミニコンサート」(2/23 予定)を計画するなど、体験的な活動を通しての学びを大切にする本園の取り組みについて保護者や地域の方に発信することができた。保護者アンケートで頂いたご意見も参考に、さらに体験的な活動の充実をはかりたい。
- (4) 「園の教育環境」については、「施設・設備」の面で安全で快適な園生活が送れるよう、信学会事務局とも相談し引き続き努めていきたい。
- (5) 小規模でアットホームな本園の利点を多くの保護者の方にご理解いただき、チームワークの良い職員集団により活気あふれる園運営ができた。